取扱説明書 プロジェクターヘルパーの使い方

パーソナルコンピューター

プロジェクターヘルパーは、プロジェクターや外部ディスプレイを接続して使うときに便利な機能を備えたアプリケーションソフトです。
機能について詳しくは、「プロジェクターヘルパーの機能について」をご覧ください。(➔ 2 ページ)

表記について
- プロジェクターおよび外部ディスプレイを総称して外部ディスプレイと表記します。
- Windows 7 の手順および画面で説明しています。

  Windows Vista の場合、通知領域のアイコンをクリックする操作で をクリックする必要はありません。

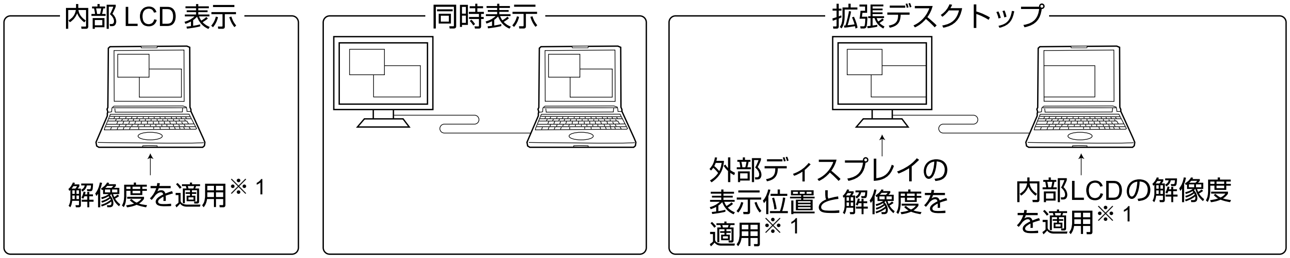
  Windows XP の場合、本書での通知領域とはタスクトレイのことです。また、アイコンをクリックする操作で をクリックする必要はありません。

プロジェクターヘルパーの機能について

プロジェクターヘルパーには次の 2 つの機能があります。

◆表示先の切り替えと解像度などの設定の適用

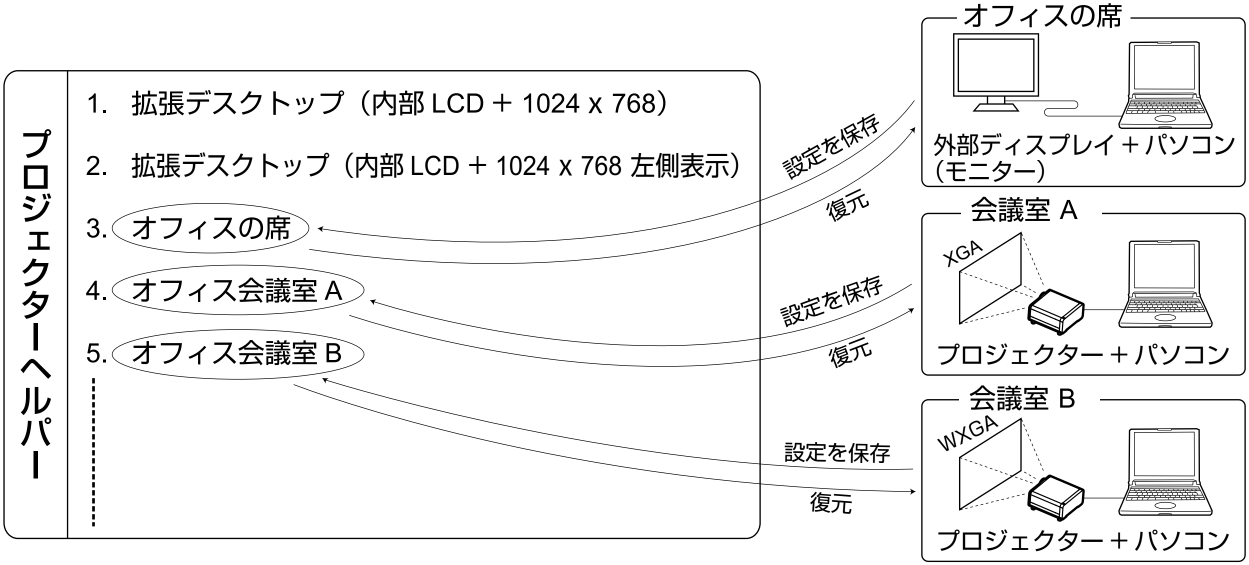
「内部 LCD 表示」「2 つのディスプレイに同時表示」「拡張デスクトップモード」の 3 つの表示先に切り替えることができます。
また、表示先を切り替えたとき、あらかじめ設定しておいた解像度や外部ディスプレイの表示位置を自動的に適用します。



※ 1「プロジェクターヘルパーの設定」画面で表示位置と解像度が設定できます。（➔ 10 ページ）

◆画面の設定の保存と復元

解像度やリフレッシュレートなどの画面の設定を複数保存し、使用シーンに合わせて復元できます。



インストールする

プロジェクターヘルパーを使うにはインストールが必要です。

お願い

- 古いバージョンのプロジェクターヘルパーをインストールしている場合は、必ず古いバージョンをアンインストールしてください。アンインストールせずに本プロジェクターヘルパーをインストールすると、正しくインストールできない場合があります。

1 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

2 プロジェクターヘルパーのインストールプログラムが展開されたフォルダー（標準では「c:¥util2¥projhelp」）を表示する。

3 フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする。

setupという名前のファイルが2つ以上ある場合は、[種類]に[アプリケーション]と表示されているファイルを右クリックしてください。

4 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックする。

5 [次へ]をクリックする。

6 [インストール]をクリックする。

7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します]が選択されていることを確認し、[完了]をクリックする。

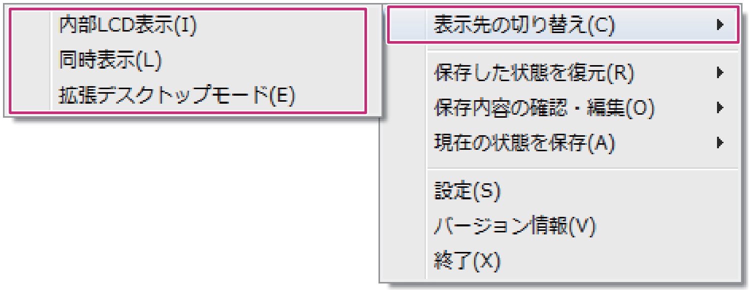
プロジェクターヘルパーをインストールすると、画面右下の通知領域の をクリックしたときに （プロジェクターヘルパー）が表示されます。

表示先を切り替える

外部ディスプレイを接続しているときに、表示先を切り替えることができます。表示先は、「内部 LCD 表示」「2 つのディスプレイに同時表示」「拡張デスクトップモード」の 3 種類から選択できます。

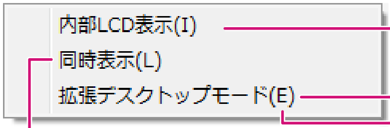
1　画面右下の通知領域の をクリックし、（プロジェクターヘルパー）をクリックする。

2　[表示先の切り替え]をクリックし、メニューから表示先をクリックする。



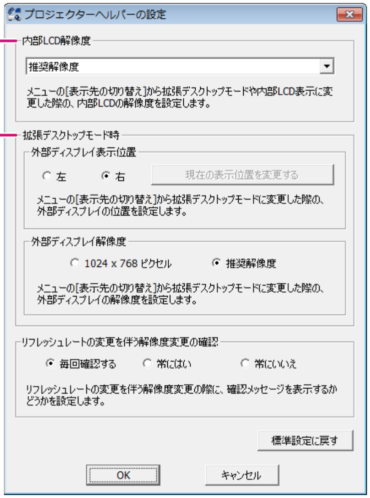
- お使いの外部ディスプレイによっては、表示先が切り替わるまでに時間がかかる場合があります。
- 選んだ表示先に完全に切り替わるまで、電源スイッチに触れないでください。
- 次の図のように、「プロジェクターヘルパーの設定」画面で設定した内容が自動的に適用されます。

＜表示先の切り替え＞



1024 x 768 ピクセル（XGA）が適用されます。
「プロジェクターヘルパーの設定」画面で、XGA 以外の解像度が適用されるように設定を変更することはできません。
同時表示で XGA 以外の解像度をお使いの場合は、画面設定の保存と復元機能をお使いください。（➔　5 ページ）

＜プロジェクターヘルパーの設定＞
表示先を切り替えたとき、各設定が適用されます。



画面の設定を保存する

よく使う画面の設定を保存することで、表示先の切り替えや解像度などの再設定をスムーズに行うことができます。
例えば、会社の自分の机では外部ディスプレイを接続し、会議室ではプロジェクターを使う場合、外部ディスプレイ接続時の画面設定とプロジェクター接続時の画面設定をそれぞれ保存しておきます。会議では保存しておいたプロジェクター接続時の設定を復元し、会議から自分の机に戻ったときは、保存しておいた外部ディスプレイ接続時の設定を復元することができます。画面のプロパティで解像度などを設定し直す必要はありません。

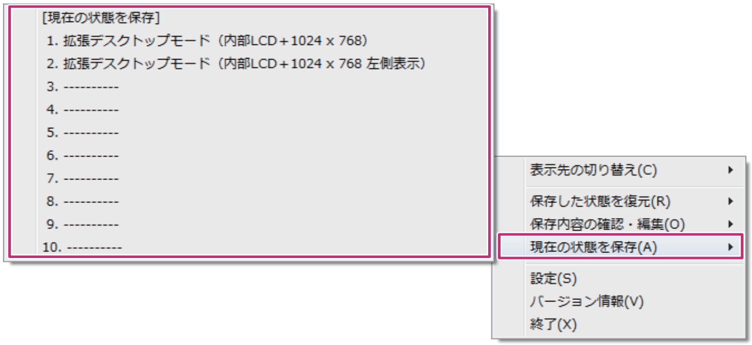
1 解像度などを変更し、保存する画面設定にする。

解像度の変更画面を表示するには、デスクトップの何もないところを右クリックし、[グラフィック プロパティ] をクリックしてください。解像度などを設定して、[OK]をクリックすると変更が適用されます。

2 画面右下の通知領域の をクリックし、（プロジェクターヘルパー）をクリックする。

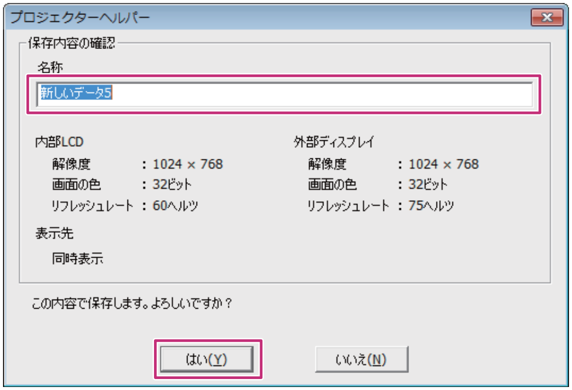
3 [現在の状態を保存]をクリックし、保存したい番号（何番目の設定に保存するか）をクリックする。

- あらかじめ 1 番目と 2 番目には拡張デスクトップの設定が用意されています。（削除や上書きが可能）
- 保存できる設定は最大 10 個です。
- 保存済みの設定（名称が表示されている番号）をクリックすると、新しい設定で上書きされます。



4 保存内容を確認する画面で、保存する設定の名称を入力し、[はい]をクリックする。

● 名称は、画面の設定の復元や確認時にも表示されます。すでに存在している名称と同じ名称でも保存できますが、復元のときなどのために他の設定と区別できるわかりやすい名称を設定することをお勧めします。（50 文字まで入力可能 / 半角全角共に使用可能）



お知らせ

● 保存した設定を確認したり、設定名を変更したりすることができます。画面右下の通知領域の をクリックし、（プロジェクターヘルパー）をクリックして[保存内容の確認・編集]をクリックしてください。（➔ 9ページ）

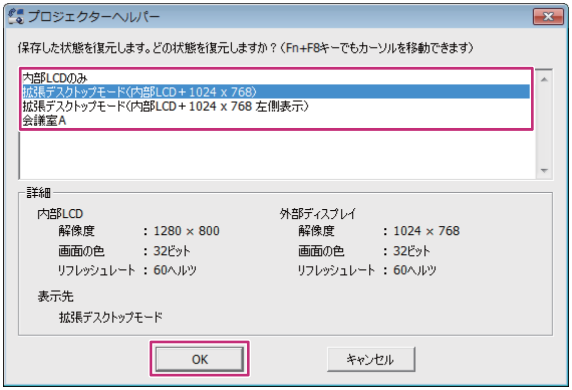
画面の設定を復元する

次のいずれかの方法で、復元することができます。
- 【Fn】+【F8】を使う
- 通知領域のプロジェクターヘルパーアイコンを使う

◆【Fn】+【F8】を使う

1 **【Fn】+【F8】を押す。**
復元する設定を選択する画面が表示されます。

2 **復元する設定をクリックして [OK] をクリックする。**
【Fn】+【F8】を数回押して、復元する設定を選択することもできます。

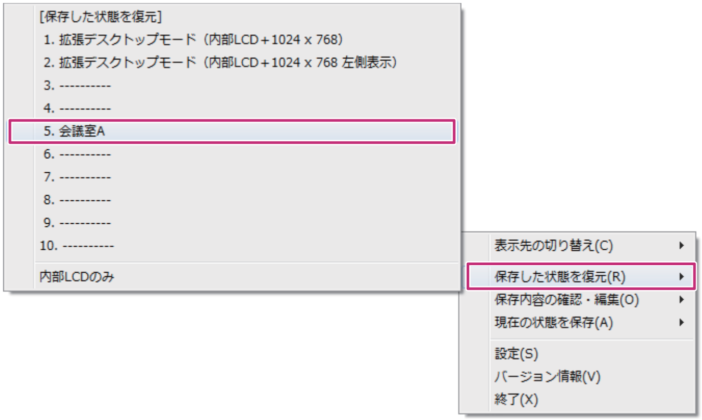


◆通知領域の（プロジェクターヘルパー）アイコンのメニューを使う

1 画面右下の通知領域の をクリックし、（プロジェクターヘルパー）をクリックする。

2 [保存した状態を復元]をクリックし、復元する設定をクリックする。

- メニューには、保存されている画面の設定に加えて [内部 LCD のみ] が表示されます。

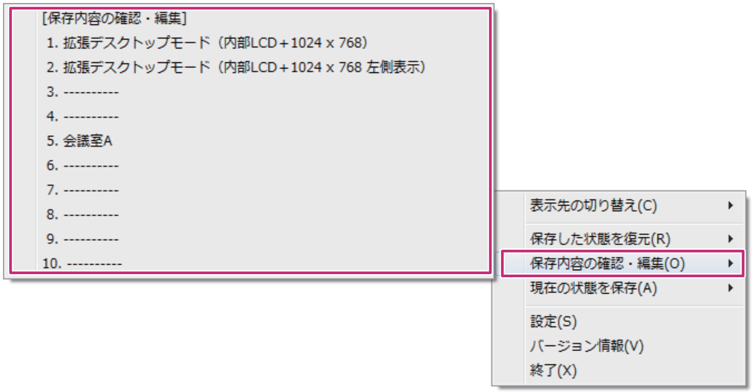


保存されている画面の設定を確認する/編集する

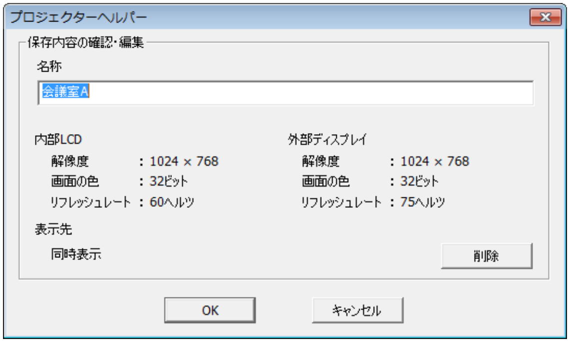
保存されている画面の設定を確認することができます。また、設定の名称を変更したり、設定を削除したりすることもできます。

1 画面右下の通知領域の をクリックし、（プロジェクターヘルパー）をクリックする。

2 [保存内容の確認・編集]をクリックし、確認する（または編集する）設定をクリックする。

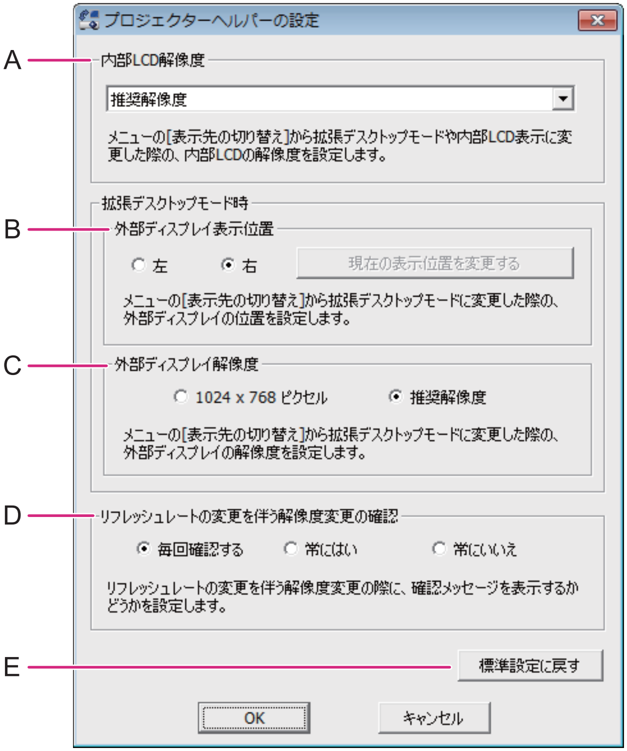


- 下記の保存内容の確認・編集を行う画面が表示されます。
- 名称を変更する場合：
  [名称] に新しい設定名を入力してください。
- 設定を削除する場合：
  [削除] をクリックしてください。
  すべての設定を削除すると、プロジェクターヘルパーを再起動したときに 1 番目と 2 番目に拡張デスクトップモードの設定（初期設定）が復活します。



設定を変更する

プロジェクターヘルパーを使って表示先を切り替えたときの解像度や拡張デスクトップモードでの外部ディスプレイの表示位置などを設定することができます。
「プロジェクターヘルパーの設定」画面を表示するには、画面右下の通知領域の をクリックし、 (プロジェクターヘルパー) をクリックして [設定] をクリックしてください。



A. [内部LCD解像度]

表示先を内部 LCD 表示または拡張デスクトップモードに切り替えたときの内部 LCD の解像度を設定します。
Windows XP をお使いの場合は、外部ディスプレイを取り外して表示先が内部 LCD 表示に切り替わったときの解像度も設定することができます。
[推奨解像度] に設定すると、内部 LCD に最適な解像度が適用されます。
[変更しない] に設定すると、解像度は変更されません。
[800 x 600] などの解像度を指定すると、指定した解像度が適用されます。

B. [**外部ディスプレイ表示位置**]

拡張デスクトップモードに切り替えたときの外部ディスプレイの表示位置（左または右）を設定します。
拡張デスクトップモード使用時に「プロジェクターヘルパーの設定」画面を表示した場合は、[左] または [右] をクリックし [現在の表示位置を変更する] をクリックすると、変更した表示位置の設定が反映されます。

C. [**外部ディスプレイ解像度**]

拡張デスクトップモードに切り替えたときの外部ディスプレイの解像度を設定します。
[1024 x 768 ピクセル] をクリックすると、外部ディスプレイの解像度を 1024 x 768 ピクセルに変更します。
[推奨解像度] をクリックすると、接続されている外部ディスプレイに最適な解像度に変更します。
※ お使いの外部ディスプレイによって推奨解像度は異なります。詳しくは、外部ディスプレイのメーカーにお問い合わせください。

D. [**リフレッシュレートの変更を伴う解像度変更の確認**]

復元しようとした設定に含まれているリフレッシュレートの値では復元ができない場合、異なるリフレッシュレートの値を使ってディスプレイの解像度を変更するかを設定します。

- [毎回確認する]
  リフレッシュレートを変更して、ディスプレイの解像度を変更するか毎回確認画面を表示します。
- [常にはい]
  確認画面を表示せず、自動的にリフレッシュレートを変更してディスプレイの解像度を変更します。
- [常にいいえ]
  ディスプレイのリフレッシュレート、解像度は変更されません。

E. [**標準設定に戻す**]

標準設定に戻します。

使用上のお願い

- 画面を 3 つ使用している場合の保存 / 復元はサポートしていません。
- 画面回転機能搭載モデルの場合
  - 画面の回転状態は保存されません。
- HDMI 出力端子搭載モデルの場合
  - Windows XP では、HDMI ケーブルを抜いても表示先が内部 LCD に切り替わらない場合があります。
  - HDMI 出力端子と外部ディスプレイコネクター両方に外部ディスプレイを接続しているときは、外部ディスプレイコネクターに接続している画面を内部 LCD の設定として保存します。
- Windows 7 をお使いの場合
  - [アイコンを等間隔に整列] にチェックマークを付けていると、拡張デスクトップモードの設定を復元したときにアイコンがずれる場合があります。
- Windows Vista をお使いの場合
  - コントロールパネルの [画面の設定] を使って解像度などの変更を行った場合、画面設定を保存しても、正しく保存できないことがあります。

困ったとき

症状	対策
画面の設定が復元できない	画面の設定が正しく保存されていない場合があります。 次の手順で解像度などを設定した後、その状態で再度、画面設定を保存し直してください。 ① デスクトップの何もないところを右クリックし、[グラフィック プロパティ] をクリックする。 ② 表示された画面で解像度などを設定し、[OK] をクリックする。 選択した解像度が適用されます。

© Panasonic Corporation 2010